

# NEW

福岡歯科学園広報誌

ニュー ソフィア

# SOPHIA

FUKUOKA SHIKAGAKUEN

JULY.2007

Vol.15 No.3

(第55号)

## CONTENTS

### 口腔医学の創設・育成 — 2

上海交通大学口腔医学院から  
教員来学 — 3

COLLEGE NEWS  
医科歯科総合病院 — 4

病院情報システム(HIS)稼働  
公開講座案内 — 5

平成18年度 事業報告  
および決算 — 6・7

FROM PARENTS  
保護者からのメッセージ — 8

FROM THE ALUMNI  
ASSOCIATION — 9  
同窓会だより

HI FROM CLINICS  
クリニックからこんにちは — 10

第10回福岡歯科学園体育祭  
第39回歯学体(夏期)日程 — 11

平成20年度入試日程  
オープンキャンパスの案内 — 12

『ニュー ソフィア』は福岡歯科学園  
ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.fdcnet.ac.jp>



講義「福博の歴史と文化探訪」: 実地見学(櫛田神社、阿部憲之介宮司の講話)

福岡歯科学園

# 口腔医学の創設・育成

本学園は、「福岡歯科学園の中期構想」に掲げた「口腔医学の確立」の実現に向け、口腔医学(口腔科)を創設・育成するという基本理念を広く社会にアピールしています。

学校法人福岡歯科学園

福岡歯科大学

理事長 田中健藏

学長 本田武司 学生部長 北村憲司

医学・医療の進歩、社会経済環境の改善などにより、わが国は世界一の長寿国となった。また、世界の人口は急増し、2020年には90億人になるといわれるが、先進国では少子化が進み、我が国でも総人口は今より数%減少するといわれている。一方、人口構成の中に占める65歳以上の人口は現在より35%増加し、3人に1人は高齢者になると予想されている。

既に、高齢者の介護、年金の圧縮、医療費の負担増などが大きな社会問題となっているが、今後、人口減少による国の活力の低下など更に大きな問題が待ち構えている。このような基本的課題に対する対策が今後も必要であるのは当然であるが、高齢社会の中にあっては、歯周病、口腔領域の癌、誤嚥性肺炎などが増加するため、口腔領域を専門とする医師は更に重要な役割を担うと考えられる。

## 1. 疾病構造および口腔疾患の時代的変遷

昭和22年から現在までの死亡率の年次推移を見ると、疾病構造は劇的に変化し、対象となる患者層も変化した。歯科領域では、むし歯は減少し、歯周病、口腔癌、さらには全身疾患に関連した口腔病変、他科疾患の治療に合併する口腔病変などが増加している。

高齢者の生活の質(QOL)の改善という観点から見ても、摂食、嚥下のコントロールを含む口腔介護(口腔ケア)の充実、口腔疾患の防止だけではなく、高齢者の生活習慣病の予防や、日常生活の活性化(ADL)を向上させる上で極めて重要なことである。特に、口腔インプラントの普及は食事、会話など、快適な日常生活にとって貢献するところが大きく、担当する歯科医師には全身管理を含めた医療に対応する能力が求められる。

このように医科医療全般と歯科医療とは、口腔を接点として、ますます密接に関連しあってくると考えられる。

## 2. 歯学(歯科)から口腔医学(口腔科)へ

歯科医学・歯科医療はこれまで医科と分離した体制で発展し、その教育体制も医学教育とは別個に歯学教育として独立して行われてきた。遠藤周作氏は「変わるものと変わらぬもの」という著作の中で、歯学が医学と切り離されて教育されていることに疑問を投げかけられている。もともと眼科や耳鼻咽喉科に比べて、歯科には医学的な基盤を持つ口腔外科や歯内療法に加え、補綴治療(眼科の義眼作成、耳鼻咽喉科の補聴器作成などにあたる)に大きな比重があった。そうした状況が医科と歯科を別に考える原因になったと思われる。しかし、高齢社会の中で求められる歯科医師の育成には、医学教育の一環として歯科医学が教育されることが不可欠であろう。

医科医療、歯科医療の今日までの発展には、それらに関係した多くの先人のたゆまぬ努力があり、現在の仕組みにも利点は多い。従ってそれらの利点を損なわずに現行制度を改変することは大変難しいことでもある。しかし、一般医科医療の知識と修練とを十分に受けた者が口腔疾患の治療に当たることで、国民の健康増進に対する歯科医師の貢献は飛躍的に大きくなるのは間違いない。21世紀の歯科医療は、このような観点から検討することが重要で、口腔という臓器の疾患の治療や予防を担当する分野として、口腔医学(口腔科)を創設することが必要と考えられる。医療体制全体の一つの専門科として、口腔医学(口腔科)を位置づける

とが、新時代の国民医療を考える上で、最も妥当な改変であり、発想の転換としても意義があることと考えている。

## 3. 歯科大学の改変

口腔疾患の医療を受ける患者の立場からすると、口腔という専門領域についての優れた知識、技術に加えて、全身疾患を勉強し、医学全般の研修を受けた者から治療を受けるようになることは、大変喜ばしいことである。そのために、現在の歯科大学の中にあっても基礎医学はもとより、臨床医学についても全般的な教育を行うことが望ましい。歯科系大学院は医科系大学院と連合して、口腔領域疾患についての研究レベルを向上させることも必要である。

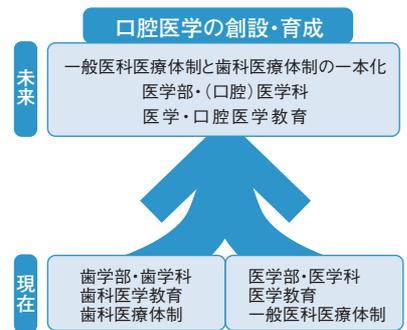
また、歯科大学の附属病院は口腔医学教育を行うために十分な医科診療科を持つ医科歯科総合病院となって、一般医学の講義、実習を充実する必要がある。国立大学法人が法人化を契機に、医学部と歯学部との附属病院を一体化したことや大学院を合併して、医歯学総合研究科としたことなどは特筆に値する改革であり、医歯学統合の先鞭とも考えられる。

なお、医科と歯科との現在の医療経済における位置づけや制度にも、いろいろと問題があり、大病院には口腔科を必ず開設することとして、口腔医の研修の場を確保することや介護老人施設に歯科医師・歯科衛生士の配置を義務づけ、口腔ケアの充実、高齢者歯科教育の推進をはかることも必要である。

歯科医学は医学全般と不可分、もともと一体のものであり、最終的には医学と歯学とが一体化して、医学全体の一専門分野として口腔医学(口腔科)を位置づけることが、社会のニーズに対応し、国民の健康増進により一層寄与出来るのではなかろうか。あるべき歯学、歯科医療の将来像について、歯科大学、歯科医学会、歯科医師会等が真剣に考えることが重要であり、さらに関連する医科関係の大学や学会、医師会等と充分協議することが必要である。

## 4. まとめ

新時代の医療、殊に口腔疾患対策としては、歯学から口腔医学へと医療概念を変換し、口腔という臓器の疾患の予防・治療を担当する口腔医学(口腔科)を創設・育成することが望まれる。そのためには大学、歯科大学の教育体制を改組し、医学全般の教育を強化する必要がある。そして、最終的には、現在の医療体制と歯科医療体制とが一体化し、口腔医学(口腔科)という医学全体の一専門分野を創設することが、社会のニーズに対応し、国民の健康増進に大きく寄与すると考えられる。各界での慎重かつ積極的な検討が期待される。



## 本学卒業生関根浄治氏、鳥根大学医学部教授に

福岡歯科大学第11期卒の関根浄治氏が平成19年6月1日付で、鳥根大学医学部歯科口腔外科学講座教授に就任されました。



せきね じょうじ  
関根 浄治 教授

専門分野:口腔外科(口腔癌の切除と再建、インプラント法による顎口腔機能再建、顎口腔領域の細胞診)

略歴

本学卒業後、長崎大学歯学部助手、歯学部附属病院講師、大学院講師、スウェーデンウメオ大学顎顔面口腔外科客員教授を経て平成19年6月現職就任。博士(歯学)。長崎県出身。抱負

口腔病変の切除～形態・機能再建という一貫治療を通して人に優しい口腔外科医の育成に臨む所存です。

母校の恩師ならびに同窓会会員の先生方にはこれまでのご指導に感謝申し上げますとともに、今後ともさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 福岡歯科大学 平成20年度入試からAO入試実施

本学のAO入学試験制度は、歯科医学を学び、歯科医師を目指す意志が明確で、次代の歯科医学をリードできる、若く、有能な人材を全国から広く募集する制度です。この入学試験において、特に優秀な成績をもって合格した人に対して、勉学に専念できる環境を支援するため、独自の奨学制度『福岡歯科大学学生共済会学術奨励金』を設けました。

※日程等は、12ページをご覧ください。

## 上海交通大学口腔医学院から教員来学

このたび上海交通大学口腔医学院から、中・短期間、研修及び交流のため、3人が福岡歯科大学へ客員教員として来学が決定しました。

研究交流客員	期 間	受け入れ先
スン チュー 孫 喆 客員准教授	5月17日 ～6月10日	総合歯科学分野
リ チャオルン 李 超倫 客員講師	9月23日 ～12月21日	歯周病学分野
スン ジェン 孫 健 客員准教授	9月23日 ～20年3月16日	口腔インプラント学分野



5月17日に来学された孫喆客員准教授からお話を伺いました。

「福岡は、初めてですが、人が多くけれど、街は清潔で静かだと思いました。

福岡歯科大学は市街地から離れ、静かで勉学に集中できる環境ですね。今回は統合型臨床シミュレーションシステムを利用した実習方法について特に研修しています。上海交通大学口腔医学院にも同様のものがありますが、実際にシミュレーションで学生が行った

模擬治療をコンピューターによって評価するシステムが素晴らしいと思いました。医科歯科総合病院では、一人の患者さんに対し、複数の診療科で一つの治療計画を立てて診ることは、自分の治療に対する考え方を大きく変えました。

これから、両校の教員の交流が、両校の発展にとってよい影響が出ることを願います。」(ちなみに、孫喆先生は福岡滞在中に焼き鳥と刺身が大好きになったそうです。お気に入りの場所は、天神と大濠公園とのことでした。)

## 韓国・慶熙大学訪問記

谷口 邦久(病態構造学・教授)

姉妹校である韓国の慶熙大学との国際交流を進めるために、3月28～29日に本学から学生部長の北村憲司教授、松浦正朗教授、谷口邦久教授の3人が慶熙大学を訪問し、相互交流に関する具体的な日程、研修内容等について協議を行いました。韓国、仁川空港で慶熙大学の国際交流委員長李振鏞教授の出迎えを受けた後、ソウルにある慶熙大学を訪問しました。慶熙大学の校門には「日本福岡歯科大学来校歓迎」の横断幕が掲げられて



慶熙大学で行った交流打合せ

おり、大変友好的な歓迎でした。慶熙大学の權寧赫学長に面会、国際交流委員会のメンバー8人と意見交換を行いました。協議はスムーズに進み、相互交流に関する具体的な内容について合意を得ることができました。

相互交流の学生数は5～6人が可能で、交流時期は隔年とし2007年10月に福岡歯科大学から慶熙大学に、2008年1月には慶熙大学から福岡歯科大学にそれぞれ学生を研修派遣することで合意しました。本学は大学院生を対象とし、慶熙大学からは日本と学制が異なるため2～3学年を派遣したいとのことでした。交流期間は約2週間とすることや教員の相互交流については近い将来に実施することで一致しました。学生の相互滞在についてはホームステイも考慮に入れて今後協議を続けることとしました。

李教授の案内で慶熙大学の歯学部附属病院、大講堂、医学部附属病院を見学し、中でも5千人収容のゴージャスな大講堂や歯学

部学生専用の診療室 student clinicがあり、実際に治療を行っていることに感銘を受けました。ソウル市内の想像以上の交通ラッシュ、高層マンションの多さ、サービス満点のおいしい韓国料理など1200万人大都会ソウルも体験しました。この度の訪問で今年度より福岡歯科大学と慶熙大学の相互国際交流を具体的に開始することで合意でき、大変有意義な訪問でした。学生や教員相互の活発な交流を期待します。



歯学部学生専用の診療室 Student Clinic

## 海外研修派遣

【福岡歯科大学】

所属分野	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
口腔インプラント学	准教授	城戸寛史	Nobel Biocare World Conference 2007にてハンズオンコース講師として出席および発表	ラスベガス(アメリカ)	自:H19. 5.19 至:H19. 5.26
冠橋義歯学	講師 助教	松永興昌 藤加寿子	Nobel Biocare World Conference 2007にて発表	ラスベガス(アメリカ)	自:H19. 5.20 至:H19. 5.27
口腔インプラント学	教授	松浦正朗	汎太平洋インプラント学会、第1回長春会議にて講演	長春(中国)	自:H19. 6.21 至:H19. 6.24
画像診断学	助教	香川豊宏	16th International Congress of Dentomaxillofacial Radiologyにて発表	北京(中国)	自:H19. 6.25 至:H19. 6.30
細胞生理学	教授	岡部幸司	第29回アメリカ骨代謝学会にて大学院生の学会発表指導	ホノルル(アメリカ)	自:H19. 9.15 至:H19. 9.21
細胞生理学	講師 助教	岡本富士雄 鍛冶屋浩	第29回アメリカ骨代謝学会にて発表	ホノルル(アメリカ)	自:H19. 9.15 至:H19. 9.21
口腔腫瘍学	大学院	中尾彰宏	第29回アメリカ骨代謝学会にて発表	ホノルル(アメリカ)	自:H19. 9.15 至:H19. 9.21

【福岡医療短期大学】

所属	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
保健福祉学科	教授	高瀬文広	第11回映像英語教育学会(STEM)に学会の副会長及び韓国学会のアドバイザー・エディターとして参加	慶州(大韓民国)	自:H.19. 4.20 至:H.19. 4.22
歯科衛生学科	教授	日高三郎	第40回国際養蜂会議アピモンディアにて発表	メルボルン(オーストラリア)	自:H.19. 9. 9 至:H.19. 9.15

## 病院のIT化に向け、病院情報システム(HIS)の導入

本年7月2日から、福岡歯科大学医科歯科総合病院では診療情報の電子化を行うシステム(病院情報システム、Hospital Information System)が稼働いたします。本システムの導入は福岡歯科大学園中期構想のひとつである病院のIT化の推進に向け導入されるものです。

本システムは医科歯科診療の内容(歯科システムでは保険診療点数を自動的に計算する機能を有している)、薬剤処方、臨床検査依頼、放射線画像検査依頼、診療予約等の病院内で発生する医療情報を電子化し、オンラインで結び、

コンピュータで一括管理を行うものです。これらの診療情報の入力や閲覧のために病院内に200台以上のパソコンを端末装置として配置します。さらには、現有の放射線画像をネットワークで配信するシステムと連携し、これらの端末でエックス線画像も同時に観察することもできるようになります。

本システムの導入により診療情報の共有化および医事会計業務の簡素化、迅速化が図られ、より質の高い医療と患者サービスを提供できると考えております。



稼働にむけてリハーサルを行う病院スタッフ

## 《平成19年度 福岡歯科大学・福岡医療短期大学 科学研究費補助金決定一覧表》

研究種目	所属講座	職名	氏名	決定額 (単位:千円)	研究課題
特定領域研究	細胞分子生物学	准教授	山崎 純	2,200	Ca <sup>2+</sup> 活性化Cl <sup>-</sup> 輸送に働くトランスポートソームの分子構成と生理機能
基盤研究(B)	咬合修復学	教授	佐藤 博信	2,400	顎骨骨質診断法開発のための基礎的研究
	口腔・顎顔面外科学	教授	大関 悟	2,700	口腔扁平上皮癌に対する個別化制限増殖型遺伝子治療法を目指した基礎的研究とその応用
	学術フロンティア研究センター	教授	関口 睦夫	6,600	哺乳動物細胞におけるRNAの品質管理機構
	歯科医療工学	教授	松家 茂樹	3,900	破骨細胞吸収型骨置換材の創製
	咬合修復学	准教授	松浦 尚志	5,400	インプラント予知診断のための顎骨骨膜分析法の開発
基盤研究(C)	歯科医療工学	准教授	福島 忠男	6,100	DNA/ポリカチオン複合体を素材にしたインジェクション型型スキャフォールド材の開発
	医療人間学	教授	壬生 正博	400	12-13世紀夢文学とその創作基調を成す聖書思想との比較研究
	細胞分子生物学	准教授	山崎 純	500	塩素イオン透過機能を持つ新規rCLCA分子の唾液腺における局在と生理機能の解明
	診断・全身管理学	教授	湯浅 賢治	1,000	頸部リンパ節に対するオーダーメイド画像診断システムの開発
	診断・全身管理学	助教	瀬々 良介	600	MRIによる痛みの画像化—顎関節症における咀嚼筋について—
	歯科医療工学	助教	川口 稔	600	カーボンナノチューブ/アルギン酸ナノコンポジットによる再生医療用バイオゲルの開発
	細胞分子生物学	教授	北村 憲司	1,000	平滑筋細胞におけるT型カルシウムチャネルの生理学的意義
	生体構造学	教授	佐藤 敦子	1,700	唾液腺主導管上皮の機能的・形態的解析—Ⅶ主導管上皮における味覚受容体の発現—
	生体構造学	准教授	岡村 和彦	600	カルシウム活性化クロライドチャネルの局在と病態への関与
	細胞分子生物学	講師	岡本 富士雄	900	Ca <sup>2+</sup> 透過性陽イオンチャネル (TRP) による破骨細胞の分化制御機序の解明
	診断・全身管理学	教授	岡部 幸司	1,300	破骨細胞の骨吸収に関わるNa <sup>+</sup> /Ca <sup>2+</sup> 交換輸送体 (NCX) の分子同定と機能解析
	診断・全身管理学	助教	香川 豊宏	1,100	インタラクティブアニメーションを使用した自己開発型教育システムの開発
	総合歯科学	教授	廣藤 卓雄	1,100	高齢者・障害者における口腔内細菌混合感染と全身性疾患に関する研究
	総合医学	准教授	堺 孝明	2,200	データマイニングによる予防医学先行投資へのリスク予測と効率的医療資源配賦の検討
	細胞分子生物学	助教	鍛冶屋 浩	2,200	破骨細胞の酸分泌におけるClCN <sub>2</sub> とV-ATPaseの分子機能カップリングの解明
	診断・全身管理学	助教	三輪 邦弘	1,500	顎関節症リンパ節を用いた超音波組織性状定量診断システムの開発
	口腔治療学	教授	阿南 壽	2,200	再生促進因子を応用した根尖部歯周組織再生療法の開発
	咬合修復学	教授	高橋 裕	2,100	レジン床義歯の補強に用いるガラス繊維強化型コンポジット (FRC) の開発と応用
	咬合修復学	准教授	清水 博史	1,800	力の緩衝能をもつ人工歯を用いた新しい義歯システムの開発
	咬合修復学	准教授	城戸 寛史	1,200	透明プラスチックインプラントを用いた骨結合達成スピードの動的評価
生体構造学	准教授	教賀 英知	1,500	歯根膜の伸展刺激にตอบสนองするfibulinがオキシタラン線維の制御に果たす役割	
※歯科衛生学科	准教授	井上 勇介	1,400	DNA/キトサン/脂質複合体を用いたマルチレイヤー-GTR、GBRメンブレンの開発	
※歯科衛生学科	教授	日高三郎	700	毎日の食事と食物成分が歯石形成を促進する可能性	
萌芽研究	咬合修復学	教授	佐藤 博信	600	審美的・機能的歯肉獲得法開発のための生物学的研究
口腔保健学	講師	町田 弘幸	1,000	固有受容性感覚器神経筋促進法による高齢者の顎運動機能向上に関する研究	
口腔保健学	教授	壺岡 隆	1,400	口腔の兆候の認知は生活習慣病予防のための行動変容とその維持に役立つか?	
※歯科衛生学科	教授	緒方 稔泰	600	安全性の高い歯石を除去する義歯洗浄剤の作製	
放射線室	診療放射線技師	市原 隆洋	900	放射線科におけるインフォームド・コンセント支援のためのナビゲーションツールの開発	
咬合修復学	講師	松永 興昌	600	インプラント周囲軟組織の術前診断法の開発	
咬合修復学	助教	長島 義之	700	間葉系幹細胞による再生骨の分子生物学的評価	
咬合修復学	講師	都築 尊	1,100	咬合性外傷の非外科的修復方法の開発	
口腔・顎顔面外科学	助教	多田 剛之	1,600	口腔扁平上皮癌による顎骨浸潤メカニズムの解明と顎骨浸潤モデルの確立	
総合歯科学	助教	日高 圭太郎	700	hTERTにおける選択的スプライシングとテロメラーゼ活性の発現抑制	
診断・全身管理学	助教	野上 堅太郎	700	歯科麻酔学専用のインタラクティブ自己学習システムの開発	
口腔外科	医員	鈴木 薫	800	ヒト唾液腺腫瘍の遊走能におけるケモカインレセプターの役割	
成長発達歯学	助教	川 鍋 仁	1,200	サイトカインの応用による口蓋形成手術後の上顎骨成長抑制の緩和	
成長発達歯学	講師	久 永 豊	1,900	歯根膜毛細血管網の微細構造解析による破骨細胞出現条件の検討	
成長発達歯学	助教	寺谷 烈	900	光学的手法を用いたタッピング運動時の歯周組織の動的応力解析	
小児歯科	医員	杉本 あゆみ	500	ミニチュア歯科診療室を用いた小児と歯科医師との信頼関係に関する研究	
機能生物化学	助教	豊田 美香	2,100	カンジダ環境応答遺伝子の組換え体構築による機能解析	
咬合修復学	助教	大郷 友規	1,000	インプラント術前診断法開発における顎骨性状の解析	
口腔・顎顔面外科学	助教	橋本 憲一郎	1,900	SCCA発現亢進/抑制による口腔扁平上皮癌細胞の形質変化の解析	
総合歯科学	助教	鈴木 奈央	2,100	口臭に関連する口腔細菌叢の多様性解析	
口腔保健学	助教	晴佐 久悟	1,400	舌症状を重視した生活習慣改善指導の効果	
	合計		50件	80,600	※は、福岡医療短期大学、他は福岡歯科大学を示す。

## ●福岡歯科大学公開講座●

### お口とお顔の若返り ～口腔と顔面の美容とアンチエイジング～

日 時：平成19年9月8日(土) 13:00～16:00

場 所：福岡県歯科医師会館(福岡市中央区大名)

高齢社会の到来により医療に対するニーズも変化して、何時までも美と若さを保った活力ある人生が求められています。「より美しく、より若く」という目標のキーポイントは笑顔の口元にあるのではないのでしょうか。

#### 1.「きれいな口元、きれいな歯で若返り」

福岡歯科大学 医科歯科総合病院 口腔顔面美容医療センター長、  
口腔インプラント科教授 松浦正朗

#### 2.「顎のかたちを美しく」

福岡歯科大学 医科歯科総合病院 口腔外科教授 池邊哲郎

#### 3.「シミ、シワ、タルミの正しい予防と治療

(アンチエイジング医療の理解のために)」

福岡大学病院 形成外科教授 大慈弥裕之

- 定員100名、  
受講料・参加料は無料。

- 申込先  
福岡歯科大学 企画課  
電話:092-801-0411  
FAX:092-801-3678  
E-mail:  
kikaku@college.fdcnet.ac.jp



昨年度の大学公開講座

## ●福岡医療短期大学公開講座●

### 高齢者の生活支援 — 元気で口から食べたい —

日 時：平成19年9月30日(日) 13:00～16:30

場 所：福岡医療短期大学303講義室(福岡市早良区田村)

基調講演 1 下村恵美子(介護士)  
宅老所「よりあい」 代表

基調講演 2 平野頼子(看護師)  
緩和ケア支援センター・コミュニティ、訪問看護ステーション 代表

講演 1 原田博文(医師)  
福岡歯科大学総合医学講座、耳鼻咽喉科学分野 教授

講演 2 黒木まどか(歯科衛生士)  
介護老人福祉施設 サンシャインプラザ勤務

講演終了後、総合討論を行います。

- 受講料・参加料は無料。

- 申込先  
福岡医療短期大学  
公開講座委員会  
電話:092-801-0923  
FAX:092-801-4473  
E-mail:  
koukai07@college.fdcnet.ac.jp



昨年度の短大公開講座

## ●第3回健康まるごと福岡歯科学園●

日 時：平成19年10月27日(土)、28日(日)

場 所：福岡歯科大学

福岡歯科学園では、医療・保健・介護のみではなく、より広い分野での地域貢献を果たすため、「健康まるごと福岡歯科学園」を開催します。

(昨年度の「健康まるごと福岡歯科学園」)

○「田の歯科祭」 ○「講演会」

○「からだの科学展」○「短大企画」

○「医科・歯科無料相談」

○「介護無料相談・介護施設見学」

など盛りだくさんの内容で、皆様のご来場をお待ちしています。

○問合せ先

福岡歯科大学 企画課

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1

電話:092-801-0411/FAX:092-801-3678

E-mail:kikaku@college.fdcnet.ac.jp



ネールアートに挑戦(からだの科学展)



次郎丸中学校吹奏楽部による演奏(田の歯科祭)



歯磨きチェック(短大企画)

## 「歯の無料相談」および「市民の歯を守る集い」を開催

歯の衛生週間にちなみ、35回目となる「歯の無料相談」(責任者:阿南壽教授・歯科保存学)が6月3日に、福岡市早良区の西新エルモールプラザ7階で開催されました。会場では、福岡歯科大学医科歯科総合病院の歯科医師や歯科衛生士が来場者の歯や口腔に関する悩みや質問に答えていました。今回は特に義歯やインプラントに関する質問が多かったようです。なお、来場者数は130人でした。

また、同日福岡県歯科医師会館で開催された「第32回福岡市民の歯を守る集い」(福岡市歯科医師会等と共催)には、本学から埴岡隆教授(口腔健康科学)を責任者とする歯科医師9人と歯科衛生士2人

が参加し、設置された各コーナー(口臭相談・休煙相談・口腔外科・小児歯科)に124人の相談者が訪れました。



歯の無料相談



# 平成18年度事業報告および決算

学校法人福岡歯科学園の事業報告および決算が、平成19年5月22日開催の評議員会、理事会で承認されましたので、その概要について説明いたします。

## 平成18年度事業報告の概要

本学園は、「福岡歯科学園の中期構想」の実現に向け、「世界の福岡歯科大学」を目指しています。なお、平成18年度の主な事業は次のとおりです。

### 1. 口腔医学の確立

新時代の医療、殊に口腔疾患対策として歯学から口腔医学へと医療概念を変換し、口腔という臓器の疾患の予防・治療を担当する口腔医学(口腔科)を創設・育成するという基本理念を広く社会にアピールするため、田中理事長等が、「口腔医学の創設と新しい口腔疾患対策の幕開け」を福岡歯科大学学会雑誌第32巻第4号(平成18年12月発行)に掲載するとともに、論文の別冊を文部科学省高等教育局私学部等に配付しました。

### 2. 認証評価機関による第三者評価

- (1) 福岡歯科大学は、平成18年度に大学基準協会および日本高等教育評価機構の認証評価を受け、いずれの評価機関からも歯学のフロントランナーとしての高い評価を受けました。
- (2) 福岡医療短期大学は、平成19年度に短期大学基準協会(認証評価機関)による第三者評価を受けるため、「自己点検・評価報告書」を作成中です。

### 3. 教員組織の改組、教員の重点配置等

福岡歯科大学および福岡医療短期大学は、学校教育法の一部改正に対応するため、教員の身分(職名)を平成19年4月から、「教授、准教授、講師、助教、助手」に変更しました。また、福岡歯科大学は、口腔医学の推進及び医科歯科総合病院の充実のため、平成19年4月から総合医学講座に「耳鼻咽喉科学」、口腔・顎顔面外科学講座に「口腔顔面美容医療センター」を配置することとしました。

### 4. 教育の改善等

- (1) 福岡歯科大学は、歯科医療人としての態度学習の一環として授業の出欠を厳格化し、授業に対する意識付けを行いました。また、新たな入学試験選抜方法としてAO入試を平成20年度から実施することを決定し、学生共済会の協力を得て入学試験成績上位3名に学術奨励金を支給することとしました。
- (2) 福岡医療短期大学は、歯科衛生学科並びに保健福祉学科教員の相互乗り入れ授業を行い、口腔介護ができる歯科衛生士の養成及び口腔ケアができる介護福祉士の養成教育を実施しています。この取り組みは、文部科学省の平成18年度特色ある大学教育支援プログラムに選定され、平成20年度にかけての3年間で約2,000万円の補助金を受けることになり、更に充実した教育を展開しています。

### 5. 研究の活性化等

- (1) 大学院活性化策として、平成18年度から大学院に特別奨学生制度を新設し、奨学金を支給しています。平成18年度は10名を特別奨学生として選考しました。
- (2) 福岡歯科大学における研究の更なる活性化をめざして、学術フロンティア研究センターの充実を図っています。平成18年度も研究課題を公募し、19名の研究代表者に研究経費の助成を行いました。

### 6. 国際交流の促進

- (1) 福岡歯科大学は、中国・上海交通大学口腔医学院と教員・学生の相互交流を積極に行いました。なお、一部経費は学生共済会から援助いただきました。
- (2) 福岡医療短期大学は、昨年に引き続き東釜山大学・歯衛生科と双方の訪問を行い、

学生間の相互交流を行いました。

### 7. 病院拡充等

- (1) 医科歯科総合病院の充実を図るため、平成19年4月から耳鼻咽喉科、口腔顔面美容医療センター・形成外科を開設しました。
- (2) 歯科医師臨床研修必修化に伴い、臨床研修歯科医及び医員の処遇を改善しました。
- (3) 病院IT化の一環として、オーダーリングを中心とした新しい病院情報システム(HIS)を導入することを決定し、本格稼働を平成19年7月2日から行うこととしました。
- (4) (財)日本医療機能評価機構に病院機能評価の受審を申請し、現在、受審に向けた準備を行っています。

### 8. 地域貢献の推進 公開講座、ボランティア活動等

福岡市西部に位置する五大学(九州大学、西南学院大学、中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学)が教育・研究・地域への貢献などで連携するため「西部地区五大学連携懇話会」を平成18年7月に発足させました。

### 9. 人材育成、管理部門業務の効率化

- (1) 事務職員の資質向上を目指し学外の各種研修会への参加を促進しました。その結果、事務職員総数の八割近くが能力向上セミナー等に参加しました。
- (2) 学園の全ての規程、規則及び細則を電子ファイル化し、業務の効率化、経費の削減を図りました。

## 平成18年度(第35期)決算の概要

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対するすべての資金の収支を明らかにするものです。一方、消費収支計算書は、民間企業の損益計算書に該当するもので、財政の健全化を測定する尺度となります。貸借対照表は、学園の当該会計年度末の資産及び負債・基本金・消費収支差額の状況を表すものです。また、財産目録は、貸借対照表と同じで当該会計年度末の資産及び負債の状況を表すものですが、資産の部を基本財産と運用財産に区分して表示していることと、建物等の減価償却対象資産の表示金額が取得額となっていることです。

平成18年度の資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録の概要は次のとおりです。

### 1. 資金収支計算書

収入の部は、学生生徒等納付金収入等で122億1,358万円の収入合計額になります。これに前年度繰越支払資金21億736万円を加えると収入の部合計額は143億2,094万円になりました。

支出の部では、人件費支出34億6,784万円と教育研究経費支出11億2,522万円等で

支出合計額は125億8,855万円になりました。

以上、収入の部合計額から支出合計額を差し引いた次年度繰越支払資金は、17億3,239万円になりました。

### 2. 消費収支計算書

消費収入の部は、学生生徒等納付金等で帰属収入合計額は71億189万円になりました。これから本館・病院改修資金としての第2号基本金及び教育研究基金、学術振興基金の第3号基本金等の基本金組入額14億1,172万円を差し引いた消費収入の部合計額は56億9,017万円になりました。

消費支出の部は、人件費、教育研究経費等で52億919万円になりました。

以上、消費収入の部合計額から消費支出の部合計額を差し引いた消費収支差額は、4億8,098万円の当年度消費収入超過額になり、これに前年度繰越消費収入超過額41億7,956万円と、除却超過による基本金取崩額1,387万円を合計した翌年度繰越消費収入超過額は46億7,441万円になりました。

### 3. 貸借対照表

資産の部合計は、第3号基本金引当資産等の組入れ等により、資産総額は505億

4,011万円になり、前年度に比較し18億2,923万円の増になりました。

負債の部合計は、退職給与引当金等で39億1,634万円になり、前年度に比較し6,346万円の減になりました。

基本金の部合計は、前年度に比べ13億9,784万円増加し、419億4,936万円になりました。

資産の部合計から負債の部合計及び基本金の部合計を差し引いた消費収支差額の部合計は46億7,441万円になりました。

### 4. 財産目録

資産の部は、土地、建物等の基本財産319億8,533万円と減価償却引当特定資産等の運用財産185億5,478万円の合計で505億4,011万円となりました。

負債の部合計は、39億1,634万円で、資産の部合計額、負債の部合計額とも貸借対照表の合計額と一致しています。

資産の部合計から負債の部合計を差し引きました差引正味財産は466億2,377万円になり、前年度に比べ18億9,270万円の増になりました。

## ○資金収支決算総括表

科目	予 算		決 算		差 異 金 額
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	
学生生徒等納付金収入	3,735,363,000	31.53	3,736,272,500	30.59	△909,500
手数料収入	36,900,000	0.31	33,032,400	0.27	3,867,600
寄附金収入	10,000,000	0.08	32,050,000	0.26	△22,050,000
補助金収入	440,620,000	3.72	667,425,760	5.46	△226,805,760
資産運用収入	744,040,000	6.28	769,747,030	6.30	△25,707,030
事業収入	1,422,800,000	12.01	1,600,061,809	13.10	△177,261,809
雑収入	68,191,000	0.58	242,212,711	1.98	△174,021,711
前受金収入	712,050,000	6.01	809,855,000	6.63	△97,805,000
その他の収入	5,745,730,000	48.50	5,786,081,123	47.37	△40,351,123
資金収支調整勘定	△1,068,183,000	△9.02	△1,463,154,058	△11.96	394,971,058
(小計)	(11,847,511,000)	(100.00)	(12,213,584,275)	(100.00)	(△366,073,275)
前年度繰越支払資金	2,107,355,000		2,107,355,814		△814
収入の部合計	13,954,866,000		14,320,940,089		△366,074,089

(単位:円)

科目	予 算		決 算		差 異 金 額
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	
人件費支出	3,623,389,000	28.93	3,467,840,151	27.55	155,548,849
教育研究経費支出	1,144,728,000	9.14	1,125,224,156	8.94	19,503,844
管理経費支出	234,107,000	1.87	217,261,468	1.73	16,845,532
施設関係支出	24,042,000	0.19	39,360,500	0.31	△15,318,500
設備関係支出	423,331,000	3.38	486,106,504	3.86	△62,775,504
資産運用支出	6,725,916,000	53.69	7,308,236,500	58.05	△582,320,500
その他の支出	539,857,000	4.31	539,400,148	4.28	456,852
[予備費]	(148,091,000)				
	151,909,000	1.21			151,909,000
資金支出調整勘定	△340,500,000	△2.72	△594,884,277	△4.72	254,384,277
(小計)	(12,526,779,000)	(100.00)	(12,588,545,150)	(100.00)	(△61,766,150)
次年度繰越支払資金	1,428,087,000		1,732,394,939		△304,307,939
支出の部合計	13,954,866,000		14,320,940,089		△366,074,089

## ○消費収支決算総括表

科目	予 算		決 算		差 異 金 額
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	
学生生徒等納付金	3,735,363,000	57.75	3,736,272,500	52.61	△909,500
手数料	36,900,000	0.57	33,032,400	0.47	3,867,600
寄附金	20,000,000	0.31	52,459,911	0.74	△32,459,911
補助金	440,620,000	6.81	667,425,760	9.40	△226,805,760
資産運用収入	744,040,000	11.50	769,747,030	10.84	△25,707,030
事業収入	1,422,800,000	22.00	1,600,061,809	22.53	△177,261,809
雑収入	68,191,000	1.06	242,889,819	3.41	△174,698,819
(帰属収入合計)	(6,467,914,000)	(100.00)	(7,101,889,229)	(100.00)	(△633,975,229)
基本金組入額合計	△1,565,052,000		△1,411,714,865		△153,337,135
消費収入の部合計	4,902,862,000		5,690,174,364		△787,312,364

科目	予 算		決 算		差 異 金 額
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	
人件費	3,620,089,000	62.38	3,333,013,311	63.98	287,075,689
教育研究経費	1,661,122,000	28.63	1,605,583,697	30.82	55,538,303
管理経費	266,399,000	4.59	249,201,189	4.78	17,197,811
資産処分差額	0	0.00	19,649,858	0.38	△19,649,858
徴収不能額	0	0.00	1,745,762	0.03	△1,745,762
[予備費]	(44,580,000)				
	255,420,000	4.40			255,420,000
消費支出の部合計	(5,803,030,000)	(100.00)	(5,209,193,817)	(100.00)	(593,836,183)
当年度消費支出超過額	900,168,000		0		
当年度消費収入超過額	0		480,980,547		
前年度繰越消費収入超過額	4,179,555,000		4,179,555,926		
基本金取崩額	0		13,874,928		
翌年度繰越消費収入超過額	3,279,387,000		4,674,411,401		

(単位:円)

## ○貸借対照表

科目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部			
固定資産	[48,117,491,483]	[46,127,499,798]	[1,989,991,685]
有形固定資産	(10,738,777,756)	(10,727,030,309)	(11,747,447)
土地	2,853,955,052	2,853,955,052	0
建物	4,582,713,878	4,798,380,182	△215,666,304
構築物	257,714,348	259,065,086	△1,350,738
教育研究用機器備品	1,608,268,883	1,420,249,238	188,019,645
その他の機器備品	24,523,582	22,653,737	1,869,845
図書	1,406,685,985	1,364,373,505	42,312,480
車輛	4,916,028	8,353,509	△3,437,481
その他の固定資産	(37,378,713,727)	(35,400,469,489)	(1,978,244,238)
電話加入権	1,705,991	1,705,991	0
敷金保証金	17,850,000	17,850,000	0
有価証券	1,724,551,600	1,142,230,100	582,321,500
長期貸付金	216,136	1,203,398	△987,262
退職給与引当特定資産	2,250,500,000	2,250,500,000	0
減価償却引当特定資産	8,946,000,000	8,946,000,000	0
施設設備充実引当特定資産	3,100,000,000	3,100,000,000	0
第2号基本金引当資産	6,400,000,000	5,800,000,000	600,000,000
第3号基本金引当資産	14,517,890,000	13,720,980,000	796,910,000
第4号基本金引当資産	420,000,000	420,000,000	0
流動資産	[2,422,614,312]	[2,583,374,328]	[△160,760,016]
現金預金	1,732,394,939	2,107,355,814	△374,960,875
未収入金	628,471,058	410,424,387	218,046,671
貯蔵品	6,187,412	4,007,064	2,180,348
短期貸付金	987,262	1,002,196	△14,934
前払金	54,573,641	60,584,867	△6,011,226
資産の部合計	50,540,105,795	48,710,874,126	1,829,231,669

## 1. 重要な会計方針

## (1) 引当金の計上基準

## 退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、期末要支給額2,706,863,020円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額の100%を計上している。

## 徴収不能引当金

未収入金等の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

## ○財産目録総括表

資産の部	金額
I. 基本財産	31,985,328,907
固定資産	31,985,328,907
(1) 有形固定資産	10,645,732,916
(2) その他の固定資産	21,339,595,991
II. 運用財産	18,554,776,888
1. 固定資産	16,132,162,576
(1) 有形固定資産	93,044,840
(2) その他の固定資産	16,039,117,736
2. 流動資産	2,422,614,312
資産の部合計	50,540,105,795

負債の部	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	[2,325,408,162]	[2,460,235,002]	[△134,826,840]
退職給与引当金	2,322,877,074	2,457,703,914	△134,826,840
長期預り金	2,531,088	2,531,088	0
流動負債	[1,590,928,537]	[1,519,565,440]	[71,363,097]
未払金	559,670,716	502,283,190	57,387,526
前受金	809,855,000	834,183,000	△24,328,000
預り金	221,402,821	183,099,250	38,303,571
負債の部合計	3,916,336,699	3,979,800,442	△63,463,743

(単位:円)

基本金の部	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	20,611,467,695	20,610,537,758	929,937
第2号基本金	6,400,000,000	5,800,000,000	600,000,000
第3号基本金	14,517,890,000	13,720,980,000	796,910,000
第4号基本金	420,000,000	420,000,000	0
基本金の部合計	41,949,357,695	40,551,517,758	1,397,839,937

消費収支差額の部	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	[4,674,411,401]	[4,179,555,926]	[494,855,475]
消費収支差額の部合計	4,674,411,401	4,179,555,926	494,855,475

負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	本年度末	前年度末	増 減
	50,540,105,795	48,710,874,126	1,829,231,669

2. 減価償却額の累計額の合計額 10,050,530,964円

3. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 83,418,846円

4. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 関連当事者との取引

記載すべき関連当事者との取引はない。

(単位:円)

負債の部	金額
I. 固定負債	2,325,408,162
退職給与引当金	2,322,877,074
長期預り金	2,531,088
II. 流動負債	1,590,928,537
未払金	559,670,716
前受金	809,855,000
預り金	221,402,821
負債の部合計	3,916,336,699
差引正味財産	46,623,769,096
負債の部合計及び差引正味財産合計	50,540,105,795

# 保護者からのメッセージ FROM PARENTS



榊 恭範 = 文

## 「背中」

早いもので私が福岡歯科大学を卒業して25年が過ぎました。歯科医師の家系に3代目として生を受けた私は、祖父と父の背中を見て育ち、自然と歯科医師の道に進んだように思います。学生時代は、決して学業に打ち込んだわけではありませんでした。しかし、卒業後にあるスタディーグループに入会したことで、それまでの自分が一変させられました。そこで出会った多くの先生方の背中を見て、歯科医師として成長していったような気がします。様々な症例に対して真剣に討論を重ね、一切の妥協を許さない姿にプロの厳しさをひしひしと感じ、性根を鍛えなおしていただきました。そして、その後自分の仕事に誇りを持ち、楽しみを見出すようになりました。

今では私も、後進の育成に微力ながら取り組ま

せていただいております。歯科界を取り巻く厳しい環境の中、学生の皆さんや若い先生方が、未来に希望と夢を持って、楽しんで学べるのが大事だと思います。少しでも、その助けになれば幸いです。

かく言う私の娘も福岡歯科大学にお世話になっておりますが、仕事人間で決してよき父親ではなかった私と同じ道を選択したときには、驚きと喜びの気持ちが半々といった感じでした。こんな父の背中に何かを感じてくれたのだとしたらうれしいことです。これからは仲間と一緒に多くの先輩や先生方の背中を追いかけ、追い越し、一流の歯科医師になってほしいと願います。

これからは、皆さんの時代です。父親の仕事を追い越し、より良い歯科界を築いてください。



木村 浩幸 = 文

## 「縁」

私は昭和57年3月に九州大学歯学部を卒業後、歯科放射線学教室に入局しました。当時、2年先輩で、現在福岡歯科大学教授の湯浅先生が外来医長でした。湯浅先生には診断はもちろん研究や学会発表から、いわゆるアフターファイブまで文字通り、公私にわたりたいへんお世話になりました。

また、私の次女が福岡歯科大学に入学以来、大変お世話になっており、このたび湯浅教授からの原稿依頼により投稿の機会を与えていただきました。

そもそも福岡歯科大学との縁は、約12、3年前に矯正科の松本教授の教室主催のDr.LoosのTweed コースに開業医として参加させていただいたことです。当時、矯正については素人だった私が、現在はLevel Anchorage Systemを診療に定着できるようになったのも当時の体験が基礎になっており、心より感謝いたしております。

また、3年前から、インプラントセンターの松浦教授よりインプラント学会認定医取得のための学会発表や論文投稿に関して懇切丁寧なご指導を賜り、心より感謝申し上げます、この場を借りてお礼申し上げます。

昨年からは、歯科医師臨床研修制度がスタートし、当クリニックは従たる施設として昨年度は九大および鹿児島大学から、研修生を受け入れ、今年度は縁あって、福岡歯科大学卒業生を前期および後期1名ずつ受け入れる（ただし、後期は九大研修生として）ことになりました。

以上のように、気づくまま書いてみましたが、福岡歯科大学との縁は大変大きなものがあり、心より感謝いたしております。

今後ともご指導の程、よろしく願いいたします。

## 福岡歯科大学父兄後援会 支部懇談会開催日程

平成19年度の福岡歯科大学父兄後援会支部懇談会が下記日程のとおり全国17会場で開催されます。各支部の総会のほか、大学からの近況報告、父兄との個別面談や意見交換などが行われます。

### 父兄後援会支部懇談会日程

支部名	開催日
熊本県	7月28日(土)
佐賀県	7月28日(土)
山口県	7月29日(日)
鹿児島県	7月29日(日)
福岡県東部	7月29日(日)
福岡県中央	8月4日(土)
宮崎県	8月4日(土)
中部・東海・関東・東日本	8月4日(土)
大分県	8月5日(日)
福岡市	8月5日(日)
福岡県南部	8月5日(日)
四国	8月18日(土)
沖縄県	8月18日(土)
長崎県	8月19日(日)
近畿	8月19日(日)
北九州	8月19日(日)
山陰・広島県・岡山県	8月19日(日)

## 「福博の歴史と文化探訪」 が開講

19年度から福岡歯科大学2学年の教養選択科目に「福博の歴史と文化探訪」が新しく開講されました。これは、学生に福岡・博多の歴史や文化を学び、将来故郷で地域への関わりと貢献について考えようというものです。座学では漫画家の長谷川法世さんや日本最古の禅寺聖福寺の細川白峰老師らによる講義を受けました。また、現地で学ぶということで東長寺や櫛田神社などを訪れ、寺社建立の由来や歴史について住職や宮司からの説明とともに、医療人をめざす学生の心構えについても貴重な講話を頂きました。



藤田紫雲住職の講話を聴く学生たち(東長寺)

## 保健福祉学科 1・2年生合同親睦会

5月13日、福岡医療短期大学保健福祉学科1・2年生合同親睦会が「海の中道海浜公園」で行われました。快晴の下、午前中は教職員の家族も一緒に参加し、ゲーム形式のレクリエーションを楽しみ、昼食後の自由時間には、スポーツに興じたり、咲き誇る花を鑑賞するなど、思い思いに過ごしました。人と接するコミュニケーションの重要性をあらためて感じ、普段、じっくりと話をする機会の少ない学年間の学生交流や教職員との親睦も深まり、思い出に残る1日となりました。



フリスビーで楽しむ参加者たち

# From The Alumni Association

## 福岡歯科大学同窓会鹿児島県支部合同研修会



高橋 裕教授

平成19年4月14日、有床義歯学分野教授の高橋裕先生を鹿児島にお迎えして、福歯大・九歯大合同研修会を開催いたしました。

福岡歯科大学同窓会と九州歯科大学同窓会は両校卒業生の親子関係が多いことなどから研修会等を通じて親睦を深めており、今年で3回を数えます。今回は福歯大より40名、九歯

大より35名の参加があり、同研修会で最多の参加者数となりました。高橋教授には『総義歯の勘所、これからの補綴について』の演題で、義歯の歴史や数名の補綴大御所の咬合理論や理念、学生実習でのエピソード等含めて講演していただき、参加者が熱心に耳を傾けている様子が印象的でした。また最近の大学教育の動向や変貌を続ける大学周辺の変化等にも触れていただき、大変興味深い内容でした。

講演終了後、黒豚料理で有名な店『あちもり』にて鹿児島の味を皆で堪能しましたが、高橋教授の同期である3期卒の先生方が多くお見えになり旧交を温めていらっしゃいました。

懇親会は大変盛況となり、締めでは九歯大側からエール交換などが披露され、古き良き時代の校風を感じました。福歯大同窓会も今後

更に伝統を築いていく使命を担う所存です。

両大学は歴史の違いで卒業生の年齢層には開きがあるものの、歯科医療の向上を目指す仲間として両校のより良い友好関係を続けていきたいと思います。

浜崎 昭裕(6期)



懇親会で高橋教授と同期の皆さん

## 2007年夏、同窓生3366名

5月26日に、第29回同窓会総会が福岡ガーデンパレスにて開催されました。会員現況は今春の卒業生(29期生)を入れて、同窓生総数は3366名となりました。しかし、物故者も70名を数えます。

本会支部は、全国に29程ありますが、同日、本会総会に先立って、各支部の代表で構成される評議員会が開催されました。会議に先立ち、本部執行部への事前質問のひとつとして本会における『親子会員』、や『夫婦会員』の数について質問がありました。『夫婦会員』については、各支部の協力のもと今後調査

することをお約束しました。一方、『親子会員』については、本部調査で子弟総数107名(既卒31名、現役学生76名)、親総数111名(夫婦11組)となり、近年明らかに、子弟の本学入学への増加傾向が伺えました。

本学には、本会のような外郭団体が幾つかありますが、その中に現役学生の保護者によって構成される『父兄後援会』があります。今春、第15代父兄後援会会長に、同窓生としては初めて勝俣辰也先生(1期生)が就任されましたが、今後同窓会との協力関係もさらに発展強化されるものと考えられます。

6月1日付けで、同窓生から2人目の教授が誕生しました。母校でなく、島根大学医学部歯科口腔外科学教授に関根浄治先生(11期生)が就任されました。本会島根県支部(会員数15名)も、種々、活況を呈することと思われます。

再来年(2009年)は、いよいよ、本同窓会創立30周年を迎えます。現在、本部としましては、各支部の会員の先生方の協力のもと、記念行事に向けて準備に取り掛かろうとしているところです。

専務理事 武井 俊哉(2期)

## 卒業生トーク 「FDCサバイバルシューティング部?創立10周年記念!」 伊藤 憲央(17期)



はやいもので大学を卒業して12年が過ぎてきました。

私は卒業してから本学歯周病学講座に在籍し、歯科医療を学ばせていただきました。現在は地元で歯科医院を開業し、なんとか平和に暮らしています。最近では福岡で過ごした楽しいキャンパスライフが懐かしく思われます。

私は卒業後間もなく、伝説のサバイバルゲーマーOBのM先生、K先生の協力のもと、勝手に同好会チームを結成し影で活動していました。すると他の医局にも熱心な先生方がおられ活動が拡がり、気付いたら学生たちも加わりシューティング部らしく?なってきました。

活動内容としては、早良の山々の中で自然とふれあいながら練習試合を行い、体力増進、精神鍛錬し、自己を高めることです。

他にも学生チームとの交流戦、長崎県S市歯科医師会サバイバルゲームチーム、現役自衛官との遠征試合などと活動も大きくなっていきました。

あれから大学を離れましたが、後輩たちに受継いだ精神は今の歯科医療に大切な事だと思います。チームで1つの目的のため、お互いを助け合いながら行動し、責任感、信頼感、感謝の気持ちが芽生えるのです。また事前に作戦を練り行動することは、治療計画にしたがって治療を進めることにつながるのです。

ただ勝手に作ったこの影の部は、正式なものではありません。今年で創立10周年の記念大会、祝賀会を開きたいのですが、地方に戻られたOBの先生方に連絡をとることが困難です。この紙面をかりて、この記事にピンとこられた方々はOB会長である北九州市U田孝一先生か、直方市Y本清先生、戸畑の角N吉宏先生にご連絡下さい。



試合前の入念なチェック

## 親しみやすい歯科医院へ



皆さん、こんにちは。私は、佐賀県神埼郡吉野ヶ里町に開業しました江口と言います。大学時代は、サーフィン、麻雀等に明け暮れる毎日を送っていました。大学時代の私をご存知の方は、うなずかれていますことと思います。大学卒業後、栢教授(現福岡医療短期大学学長)が率いる歯周病学講座に入局致しました。永井助教授の元、日々研究(色々な…笑)に精を出しました。

8年間大学病院で臨床経験を積み、久留米市にある「たかた歯科医院」に勤務致しました。大学病院と違い、虫歯の治療から入れ歯まで、子供の治療から老人の治療まで自分でやらなければなりません。 (当たり前ですが…) 又、患者さんとのコミュニケーションもしっかり学びました。大学病院にお見えの方との違いにも少しずつ慣れ、3年の経験を積み、昨年7月に地元にて開業致しました。自分にやれる事、患者さんがやりたい事、自院で何を提供できるのかということをお問自答しながら日々を過ごしています。ここまで来れたのも歯科医師免許を取り、何も分からない私を使っていた先生方、数多くの患者さんのおかげだと思います。

「嫌われる歯科医院から親しみやすい歯科医院へ」をモットーとして、今後患者さんの健康に少しでもお手伝いできたらと考えています。

人は皆、色々な欲があります。その中で最後まで残る欲は食欲だと思います。それを満たしてあげるのも歯科医師の務めではないでしょうか。

エイト歯科クリニック  
(佐賀県神埼郡吉野ヶ里町)

江口 隆郎  
(17期)=文

写真上=診療室  
写真中=当院自慢のパウダールーム  
写真下=院長とゆかいな仲間たち


 ”  
近況  
“


先輩諸氏、同窓生のみなさま、いかがお過ごしでしょうか？  
17期卒業の宮脇雄一郎です。私は卒業してすぐに広島大学大学院(歯科矯正学)へ入学しました。4年間の大学院生活の後、香川県高松市にある山田矯正歯科クリニックへ就職し、その後故郷の山口県宇部市において矯正専門で、みやわき矯正歯科クリニックを開業しました。

卒業して早12年が経つわけですが、気は若くても体の衰えは隠せない状況です。広島時代に医局で知り合って結婚した嫁との間に1男1女をもうけ、日々診療に悩みながら過ごしています。2年前には山口市に分院を開業し、嫁から私が暖簾わけ?をしてもらい、宇部の病院は嫁が診療し、私は片道40分かけて宇部から山口までかよい、山口のオフィスが休みのときは宇部のオフィスで診療するという自虐的な生活を送っています。仕事は矯正専門ですからさほど患者さんがいるわけでもなく、忙しいのか、暇なのかよくわからない状況です。学生時代は剣道部に所属し、明けても暮れても剣道でしたが、卒業してからはいっさい剣道どころか、運動というものを行っていませんでした。そのせいか学生時代の酒の量だけ維持していたため、一時脂肪肝と診断され、入院させられそうになりましたが、毎朝、ジョギングを7-8キロしてから仕事へと向かうというこれまた学生時代には考えられない生活へ切り替えたため、なんとか健康的には持ち直している状況です。

病院の方は真面目にコツコツと、学生時代の私を知る人からするとおかしな話ですが、やっています。最近、念願だった歯科用CTを購入しました。これでまたしばらくは高いモチベーションを保って診療できそうです。

自営業者はやっぱ体が資本です。病気をして、自分の歳、置かれている状況がわかりました。同窓生のみなさん、健康には気をつけてこの荒波を乗り切りましょう。

みやわき矯正歯科クリニック(山口県宇部市)  
宮脇 雄一郎(17期)=文

写真上=デンタルCT  
写真下=スタッフ、ドクター3名衛生士3名受付1名技工士1名でやっています



## 第10回福岡歯科学園体育祭

5月25日、福岡歯科大学・福岡医療短期大学の共同で学園体育祭が開催されました。

当日は雨のため、グラウンドで予定されていたサッカー、ソフトボール、キックベースボール、ドッチボールは中止になりましたが、クラス対抗玉入れ・バスケットボール・バレーボール・クラブ対抗リレーの各種競技が体育館で行われました。各競技とも熱戦が繰り広げられました。特に盛り上がったのは、クラブ対抗リレーで、各クラブが優勝を目指し一生懸命に走っていましたが、力みすぎてころんだり、折り返しでぶつかりそうになった選手もいました。なお、福岡医療短期大学のチームは、残念ながら優勝は逃しましたが、バレーボール(女子)で準優勝しました。

結果は次のとおりです。



クラブ対抗リレー



バレーボール(男子)

### 【競技別優勝チーム】

種目	男子	女子
クラス対抗玉入れ	歯学部5年谷口班	
クラブ対抗リレー	サッカー部	バレーボール部
バスケットボール	歯学部2年チーム	歯学部1年チーム
バレーボール	歯学部5年チーム	歯学部5年チーム

## 第39回歯学体夏期部門

第39回全日本歯科学学生総合体育大会夏期部門(事務主管 松本歯科大学)が、7月28日(土)から8月8日(水)にかけて長野県を中心に愛知県他で開催されます。各競技と会場は下表のとおりです。

部門名	日程	会場
硬式野球	8月1日(水)~8月6日(月)	松本市野球場 諏訪湖スタジアム
硬式庭球	7月28日(土)~7月30日(月)	軽井沢町塩沢地区民宿コート
サッカー	8月1日(水)~8月5日(日)	南長野運動公園総合競技場 千曲川「フットボール」ガーデン
ゴルフ	8月2日(木)~8月3日(金)	軽井沢72ゴルフ
バドミントン	8月1日(水)~8月5日(日)	松本平広域公園体育館
バレーボール	8月1日(水)~8月4日(土)	大町市大町総合体育館 大町市立第一中学校体育館
バスケットボール	8月1日(水)~8月5日(日)	長野市ホワイトリング 南長野運動公園体育館
ボウリング	8月5日(日)~8月8日(水)	稲沢グランドボウル
柔道	8月4日(土)~8月5日(日)	松本市梓川体育館
剣道	8月4日(土)~8月5日(日)	岡谷市民総合体育館
弓道	8月2日(木)~8月5日(日)	塩尻市宮弓道場
空手道	8月5日(日)	岡崎中央総合公園武道館
水泳	8月4日(土)~8月5日(日)	長野市アクアウイング
ヨット	8月4日(土)~8月5日(日)	愛知県蒲郡市海洋ヨットハーバー

## 第5回サンシャインシティ大運動会

6月24日、介護老人保健施設サンシャインシティ1階デイケア・リハビリフロアで第5回大運動会が開催されました。この運動会は競技を通じて入所者とその家族が交流を深めることができるよう、またご家族へ施設看護・介護について理解を深めてもらう目的で毎年行っています。今年度は障害物競走、綱引きや応援合戦などの競技が行われ、入所者やその家族、ボランティアの方や職員から大きな歓声が上がっていました。



引っぱれ！引っぱれ！  
(綱引き)



職員のリードにあわせて  
(応援合戦)

## まもなく「親子ボランティア」も結成

(介護老人福祉施設サンシャインプラザが行っている地域との取り組みを紹介します。)

当施設「サンシャインプラザ」の基本理念のひとつ、地域との連携に少し明るい兆しがみえてまいりました。

3年前程、近所の閉じこもり気味の方に声を掛けました。閉じこもりは、体に悪いから、うちの施設に遊びにおいで…2~3人から始まって現在40人余りの人達が「さくら館」(福岡歯科学園の地域交流施設)を利用しています。入所者と一緒に「ラッキョウ」や「梅干」を漬けたり、干柿を吊るしたり、要望に応じて「介

護教室」も開きました。その卒業生が当施設のコーヒー喫茶や居酒屋のボランティアに来ています。入所者の話し相手にもなっています。

いま、小中学生の「親子ボランティア」結成の話が進んでいます。入所者と歌を唄ったり、夏休みにはさまざまな体験学習も計画しています。そのひとつに「さくら館」を利用して「キャンプ」を張る予定です。料理、洗濯、掃除の仕方、マナーの勉強もします。できれば「寺子屋」教室や、親子学習も実施したいと考えています。

弱者の姿を知って育って欲しいのです。

(施設長 藤田 猛)



みんな楽しく、干柿づくり

オープンキャンパス

開催校	実施日
福岡歯科大学	7月28日(土)・8月25日(土)
福岡医療短期大学 (歯科衛生学科) (保健福祉学科)	第3回 7月27日(金)
	第4回 8月10日(金)
	第5回 9月15日(土)
	第6回 10月20日(土)
	第7回 12月 8日(土)

入学希望者をはじめ、ご家族や高校・予備校の先生方を対象に福岡歯科大学、福岡医療短期大学において「オープンキャンパス」が左記の日程で行われます。お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。(問い合わせは各入試係まで)



福岡歯科大学 シミュレーション実習室見学



福岡医療短期大学 手話ソングをやってみよう

## 平成20年度入学試験日程

福岡歯科大学				福岡歯科大学大学院 歯学研究科		
区分	推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試	一般入試B日程	一次募集	二次募集
募集人員	約15名	約46名	約10名	約10名	18名	
出願受付期間	H19.11.1(木)-11.8(木)	H20.1.4(金)-1.29(火)	H20.1.21(月)-2.13(水)	H20.2.12(火)-3.6(木)	H19.7.30(月)-8.17(金)	H20.1.28(月)-2.15(金)
試験日	11月10日(土)	2月1日(金)	2月16日(土)	3月10日(月)	8月23日(木)	2月21日(木)
合格発表日	11月15日(木)	2月6日(水)	2月20日(水)	3月12日(水)	9月 6日(木)	3月 6日(木)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/col">http://www.fdcnet.ac.jp/col</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/colhp">http://www.fdcnet.ac.jp/colhp</a> E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp					

## 【福岡歯科大学Admissions Office(AO)入学試験】

本学のAO入学試験制度は、歯科医学を学び、歯科医師を目指す意志が明確で、次代の歯科医学をリードできる、若く、有能な人材を広く全国から募集する制度です。また、AO入学試験合格者のうち、入学試験成績上位3名の者に対して、学術奨励金を支給します。(2年次以降は継続条件有り)

募集人員	出願受付期間	試験日	合格発表日
約15名	H19年8月13日(月) H19年9月 5日(水)	1次: 9月15日(土) 2次: 10月20日(土)	1次: 10月 5日(金) 2次: 10月25日(木)

※詳細は学務課入試係(TEL.092-801-1885)までお問合せください。

### 福岡医療短期大学・歯科衛生学科

区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(公募)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	AO入試
募集人員	約10名	約10名	約15名	約5名	若干名	約40名
出願受付期間	H19.11.1(木)-11.8(木)	H19.11.1(木)-11.8(木)	H20.1.4(金)-1.29(火)	H20.2.4(月)-2.21(木)	H20.3.3(月)-3.10(月)	詳細は入試係まで お問い合わせください。
試験日	11月10日(土)	11月10日(土)	2月1日(金)	2月23日(土)	3月12日(水)	
合格発表日	11月16日(金)	11月16日(金)	2月6日(水)	2月29日(金)	3月14日(金)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 歯科衛生学科入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/hyg">http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/hyg</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp">http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp</a> E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp					

### 福岡医療短期大学・保健福祉学科

区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(I)(公募・社会人)	推薦入試(II)(公募・社会人)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	一般入試D日程	AO入試
募集人員	約15名	約10名	約5名	約10名	若干名	若干名	若干名	約20名
出願受付期間	H19.11.1(木)-11.8(木)	H19.11.1(木)-11.8(木)	H19.12.3(月)-12.13(木)	H20.1.4(金)-1.29(火)	H20.2.4(月)-2.21(木)	H20.3.3(月)-3.10(月)	H20.3.14(金)-3.24(月)	詳細は入試係まで お問い合わせください。
試験日	11月10日(土)	11月10日(土)	12月15日(土)	2月1日(金)	2月23日(土)	3月12日(水)	3月26日(水)	
合格発表日	11月16日(金)	11月16日(金)	12月20日(木)	2月6日(水)	2月29日(金)	3月14日(金)	3月27日(木)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 保健福祉学科入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/wel">http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/wel</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp">http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp</a> E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp							

## 平成19年度大学院特別奨学生等決定

◇福岡歯科大学大学院特別奨学生  
(修学資金として毎月16万円を支給)として次の9人を決定しました。

- 第4学年 中尾 彰宏(口腔腫瘍学)
- 第4学年 福成 史子(画像診断学)
- 第4学年 森永 健三(口腔インプラント学)
- 第3学年 植木 猛士(矯正歯科学)
- 第3学年 吉田 智治(矯正歯科学)
- 第2学年 長谷川 綾(矯正歯科学)
- 第1学年 福岡 宏士(冠橋義歯学)
- 第1学年 別府 健介(口腔インプラント学)
- 第1学年 中山 修二(口腔外科学)

◇福岡歯科大学大学院奨学生  
(奨学金として授業料相当額70万円を支給)として次の9人を決定しました。

- 第4学年 岩橋 輝明(口腔腫瘍学)
- 第4学年 大櫛 幸子(矯正歯科学)
- 第4学年 徳富健太郎(冠橋義歯学)
- 第1学年 吉田 兼義(有床義歯学)
- 第1学年 畑 実(障害者歯科学)
- 第1学年 佐々木美智子(冠橋義歯学)
- 第1学年 中島 一記(矯正歯科学)
- 第1学年 来海慶一郎(口腔外科学)
- 第1学年 山口 和勇(生 化 学)

## 福岡歯科大学特待生

福岡歯科大学の平成19年度特待生に次の8人が選ばれました。特待生は、学業成績が特に優秀であり、品行方正、かつ健康であること等を条件にしてその年度の授業料の半額が免除されます。

- |            |            |
|------------|------------|
| 第2学年 榎坂 佳子 | 第4学年 村上 千尋 |
| 第2学年 高野 愛子 | 第4学年 笹倉 彩  |
| 第3学年 橋本 明枝 | 第5学年 川中 笑美 |
| 第3学年 濱島 康代 | 第6学年 梅田まりこ |

## 福岡医療短期大学特別奨学生

福岡医療短期大学の平成19年度特別奨学生に次の9人が選ばれました。特別奨学生は、その年度の授業料の半額が免除されます。

- |            |            |
|------------|------------|
| ◇歯科衛生学科    | ◇保健福祉学科    |
| 第2学年 松本亜希子 | 第3学年 米本 沙織 |
| 第2学年 力武紗由美 | 第3学年 平川 恵  |
| 第2学年 前田 豊美 | 第3学年 波多江美香 |
|            | 第2学年 高部 裕子 |
|            | 第2学年 太田 政也 |
|            | 第2学年 足立 直之 |